

市政Q&A  
みんなの  
声



**Q** 近いうちに釜石にUターンして仕事をしたいと思っておりますが、どんな仕事があるか分からず、帰っても家がありません。釜石に借りられる住居などはありますか。関係する資料があれば送ってもらえますか？  
(市外・男性)

**A** 直近の求人情報（釜石・大槌地域）、釜石市U・Iターン登録制度案内チラシおよび希望登録票、雇用促進住宅活用制度チラシ、市内不動産会社一覧をお送りしますのでご覧いただけます。当市では現在、建設業、水産加工業、介護サービス業などを中心に幅広い職種で人手不足となっているため、市は労働力の確保に積極的に取り組んでいます。ぜひUターンについて前向きにご検討いただきますようお願いいたします。  
(商工労政課)

**Q** 70代で市内賃貸住宅に一人暮らしです。最近健康に不安を感じようになり、仮に脳障害で意識不明となれば救急車を依頼できません。民間セキユリティー会社が運営している「ホームセキユリティー」などに類似した制度が市にありますか？  
(市内・男性)

**A** 持病を抱えている65歳以上の高齢者のみの世帯などを対象とした「緊急通報装置貸与事業」があります。緊急時には委託先の受信センターにつながり、必要に応じて、協力者の訪問依頼や消防署に出動要請をします。また、月1回センターから利用者に様子伺いの連絡をします。月額利用料は利用者の所得税課税状況により、無料から3,780円の範囲で、ご利用の際は申請が必要です。  
(高齢介護福祉課)

震災を語り継ぐ

7



畠山一信さん  
(大石町内会会長)

これほどまでに大きな、また夢のような現実、簡単に受け止められない状況……。とはいえ何かしらの形があるもので残さないと時間がたつにつれ、記憶は薄れていってしまうだろう。写真とともに、皆さんのいろいろな思いを文章で残せたら……。たまたま写真を撮っていたことができた地域の方(上野先生)とこのような話をしていたことがきっかけで「東日本大震災 震災の記憶」は作られた。実は、私は両親から、昭和8年の津波や明治の津波の話はいろいろ聞いていた。

「東日本大震災 震災の記憶」

母は大正8年生まれだったので、昭和8年の津波のときは、小白浜の尋常高等小学校に通っていた。当時の状況として母からは、「前の日にいつものお別れ『さようなら』と友達と別

れ、翌日3月3日の津波で何人かの友達が亡くなった。津波のあと家が流れていくのを見た」「津波がくる前に、2日、3日と余震があった。今回のような急激にくる地震ではなく、ゆったりゆったり揺れが続いた」といった話を聞いていた。

また、釜石湾で係留されていた船にいた父は、「潮がひいて船が横に倒れたのを見て逃げた」と話していた。

こうした話を聞いていたこともあって、あのときの地震の大きさは、ただごとではないと直感した。

ここ大石では、犠牲者がゼロだったが、傾斜地という大石の自然条件と、海の状況を「見る」ことができた「昼間の津波」だったということが幸いしたと思う。平坦な土地なら、すぐそこに波が来るまで見ることができず、また波はどこまでも追いかけてくるが、大石は波の状態もわかり、斜面のどこへでも逃げるができる。

大きい地震に、大きな津波……。とにかく「逃げる」、「逃げろ」ということが一番」ということを今後も伝えていきたい。

**Q** 元釜石市民です。ラグビーによるまちおこしはとも頼もしいのですが、ラグビーワールドカップ（が開催された場合）の後、スタジアムの維持管理が心配です。費用はだれが負担するのですか？  
(市外・男性)

**A** 費用負担軽減へ最大限努力が必要であり、ラグビーワールドカップ開催を通じたスポーツと地域の活性化と共に、開催後の施設の有効活用策を検討しています。現時点で、想定施設規模から維持管理費を年間3,500万円と試算しています。が、広く意見を聴きながら、管理費削減が可能な施設のあり方

や費用対効果を分析し、三陸の住民のためになるような施設運営を目指します。  
(スポーツ推進課)

意見をお寄せください

このコーナーは、投書、市ホームページなどに寄せられた市政に対する質問・意見のうち、記名入りで寄せられ、市が回答したものの中から紹介しています。寄せられた意見などは、関係課で内容を検討し施策の参考にするとともに、回答が必要なものは、おおむね2週間以内にお答えしています。ただし、匿名の場合は、直接回答することができません。なお、収集した個人情報等は、当該事務以外の目的には一切使用しません。

身近な防災豆知識 ⑦

災害用伝言サービスについて(その2)

前号の「災害用伝言ダイヤル(171)」に続き、携帯電話やPHSを通じ安否を確認できる「災害用伝言板」のサービスを紹介いたします。

災害用伝言板とは、震度6弱以上の地震など大規模災害が発生した場合、お手持ちの携帯電話やPHSのインターネット接続機能を利用して安否情報を文字や音声で登録・確認できるサービスです。

- 災害用伝言板の利用料・パケット通信料は無料
- 各携帯電話会社間で災害用伝言板を利用できます。(ただし、他社の伝言板のアクセスにはパケット通信料が必要です。)

また、NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンクモバイルの各社では、スマートフォン向けに、ダウンロードして利用できる専用のアプリケーションを提供しています。

これらのサービスの詳しい内容や機能、操作方法などは、お手持ちの携帯電話・PHS各社のホームページ(下記アドレス)で確認してください。

- NTTドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>
- KDDI (au) <http://www.au.kddi.com/notice/dengon/>
- ソフトバンクモバイル <http://mb.softbank.jp/mb/information/dengon/index.html>
- ワイモバイル <http://www.ymobile.jp/dengon/>

防災行政無線の放送内容を無料で確認できます。ぜひご利用ください。(☎0800-800-3199)

橋野高炉跡

⑦ 世界遺産登録に向けて



橋野鉄鉱山インフォメーションセンターのご案内

昨年11月、青ノ木グリーンパーク内に、橋野鉄鉱山インフォメーションセンターがオープンしました。

同センターでは、平成27年度の世界遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」と橋野鉄鉱山(橋野高炉跡及び関連遺跡)の概要を解説パネルや映像でご覧いただけるほか、トイレや休憩スペースを備えています。

橋野高炉跡を訪れる際は、ぜひ橋野鉄鉱山インフォメーションセンターにお立ち寄りください。



- ◇所在地 釜石市橋野町第2地割6番地
- ◇構造 木造平屋建て  
(延床面積:225.24㎡)
- ◇開館日 4月1日から12月8日まで  
(冬期間休館)
- ◇開館時間 9時30分~16時30分
- ◇入場料 無料

【問い合わせ】

市世界遺産登録推進室(内線105)